

登録コード	ASE03632	開講年度	2026				
授業科目	特別研究					担当教員	三谷 壘一
英文授業名	Graduate Research					副担当	
単位数	10	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	修士2年
講義室				授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	2026ASカリ，2025ASカリ，2024ASカリ，2023ASカリ						
	【専攻】生命科学，食品科学，食料生産および環境の保全と修復などの分野における幅広い体系的な基礎学力と実践的技術力とともに高い研究開発能力を修得している。					⇔	・生化学的手法および分子生物学的に手法によって食品成分の機能性を解析できるようになる。 ・研究課題に取り組むことで、論理的な思考を学会等の外部へと発信できることができるようになる。
	【専攻】農学分野で必要とされる情報収集・分析能力，批判的思考力を有し，農学分野での研究成果を発信できるグローバルな情報発信能力を有する。					⇔	・自分の研究成果を応用して持続可能社会にどのように貢献するのかを説明できる。
授業の概要	学部時代に得た基礎的な技術を応用し、自らの研究内容をさらに深化させる。月に一度、研究結果をまとめたプレゼンテーション（プロGRESS）を行ってもらいます。ある程度の成果がでたら学会で研究内容の発表をおこなってもらいます。研究の進捗度と本人の努力によっては学会発表ができないこともあります。						
Contents:	We will investigate the physiological effect of food factors using molecular biology and biochemistry methods in order to development of new functional food. I'll give students research topic, and students will learn professional skills and logical thinking skills through their own research.						
授業計画	前期、後期を含めて個別の研究テーマを取り組みます。実験ノートは月に2回以上は指導教員に閲覧してもらおう。実験ノートを使って専攻研究の進捗とその後の方針をディスカッションする。研究結果の進捗状況により、研究テーマが変更する可能性もあります。最後の授業回に授業アンケートを実施する。						
成績評価の方法	毎月、研究の進捗状況に関する打合せには必ず参加してください。研究の進捗度による成績評価は行いませんが、以下の内容の理解度で成績を評価します。 ①自分の研究テーマの背景と問題点について。 ②問題点をどのような観点から解決しようとしているのか。 ③結果からの考察と今後の展開をどうするのか。 ただし、プロGRESSを放棄する。実験ノートの閲覧を放棄（最低閲覧回数を下回る）するなどを行った場合は、評価が得られません。						
成績評価の基準	日常の研究態度、勉強の様子、成果発表の内容を総合して判断します。目安としては、上記の授業の達成目標について、標準的達成レベルにあれば80点、理想的達成レベルにあれば100点とします。なお、成績評価を得るには同年度の生命機能科学コースの専攻研究論文発表会の聴講、および食品生命科学分野の修士論文発表会において自身の研究成果を発表することを必須とする。						
事前事後学習の内容	研究テーマに関連する先行研究について、学術論文や専門書を用いて学習すること。定期的に、自身のデータを並べて研究結果を論理的にまとめる習慣をつける。						
履修上の注意	毎月、研究の進捗状況に関する打合せを行います。その際、レポートの作成を求めます。期末に研究の進捗度をまとめたプロGRESSレポートを課します。						
質問,相談への対応	随時受け付けます						
学生へのメッセージ	研究結果を社会に還元するは、研究するものの責務です。それと同時に研究結果は研究室の財産であることを自覚して、無闇に研究内容を学外に漏らすなどの行動は謹んでください。研究室では実験に関わる安全上の決め事に従って下さい。						
【教科書】	特になし						
【参考書】	適時紹介します						